

防府山の会 12 月例会山行 岳浦山(490.7m 広島県呉市) 山行報告書

2018. 12. 10

◇日 程 平成 30 年 12 月 9 日(日)

◇山行形態 レンタカー利用の日帰り山行

◇費 用 5,000 円

◇参加者 K.M(L、会計)、A.T、M.K、Y.Y、F.T、
T.K、Y.S、H.Y、K.K、U.N(記録)

◇アプローチ

<行き>12月9日(日) 防府市役所 AM7 時集合

防府市役所(7:00)—佐波川東 IC(7:10)—山陽自動車道下松 SA(7:30)—廿日市 IC—
広島高速 3 号線—仁保 JCT—広島-呉道路天応東 IC—西宇土駐車場(9:50)

<帰り>12月9日(日)

西宇土駐車場(15:10)—広島-呉道路天応東 IC—広島高速 3 号線—廿日市 IC—
山陽自動車道下松 SA(17:30)—佐波川東 IC—防府市役所(18:15)

◇コース 12月9日(日)

○沢・岩コース 西宇土 P…登山口…分岐沢コース(B ルート)…西宇土分岐…岳浦山

○縦走コース 西宇土 P(10:10)…登山口(10:22)…分岐尾根コース(A ルート)…

西宇土分岐(12:00)…岳浦山(12:10~12:20)…5 号地 381m(13:10~13:35)…

登山口(14:40)…(約 2km)…西宇土 P(15:00)

◇個人装備

ザック、靴下、雨具、傘、タオル、ハンカチ、防寒着(フリースなど)、帽子、手袋、
コンパス、地図、保険証、ゴミ袋昼食用、ストック、カメラ、スマホ、ヘッドライト、
その他、ヘルメット、ハーネス、カラビナなど

◇共同装備

コンロ、コンロ台、ガスボンベ、コッヘル、救急薬品、ザイル

◇山行記録

防府市役所に 7 時集合、8 名でレンタカーに乗り、下松 SA で 2 名乗車して総勢 10 名。廿日市 IC 8:15 通過、広島-呉道路を南下、至る所に先日の災害の爪痕あり…。同天応料金所 8:50 通過、呉駅公園前 9:00 通過、倉橋島西宇土の駐車場に 9:50 着。準備運動を済ませ、10:10 出発、途中から 6 名は沢コース、4 名は尾根コースへ。沢コース組はリーダーを先頭に藪沢を遡上、岳浦山頂 12:13 到着、尾根コース組は数分前に到着したとのこと。山頂には赤い鳥居があり、残念ながら展望は全くない。赤い鳥居前で集合写真を撮り、展望のいい 5 号地まで下山。5 号地は目の前が大きく開けていて、大小の島々が浮かぶ瀬戸内海がキラキラと輝き美しい。ここで昼食休憩、暑いコーヒーにお茶菓子等が多い、素晴らしい展望を満喫し下山。県道 283 号線を 30 分くらい歩いて駐車場に戻ったのが 15:00。同駐車場を 15:10 出発、

廿日市 IC 16:45 通過、防府 IC 18:05 通過、防府市役所に 18:15 到着した。(登)

◇感想

Bルート：ヘルメット、ハーネス、カラビナ、ザイル等装備したが、使用する場面はなく、ひたすら殆ど藪になった沢を遡上した。右に目を向ければ、樹木の合間に苔むした石垣が延々と続き、棚田だったのか当時を偲ばれる。所々小さな滝があり、多少濡れたが、無難に越える事が出来た。適時目印の赤や黄色テープはあったが、殆ど登られていないと思われた。唯一、Bルート終了直下にロープの垂れ下がった岩場があったが、ひょっとしたら、このルートの核心部分だったかも知れない。また、山中サルトリイバラの木が多く、少々難儀を強いられた。当ルートを登られる場合は、丈夫な手袋は必要。終始曇天ながら、展望が望める所では、少し色あせた紅葉と、何よりもきらきら輝く瀬戸内海は印象的だった。さらに、下山に使用したCルートは、展望が効き、サルトリイバラさえ無ければ快適な登山道。往復運転をされたお二人、及び同行の皆さんに感謝。

◇歩行コース

